

1 一 般 会 計

(1) 議会施策

① 議会費

事業名	決算額(千円)	成果説明
海外視察研修事業	492	北信越市議会議長会のオーストラリア、ニュージーランドの視察研修に1名を派遣した。 政治、経済等について調査研究し、視野を広めるとともに、他市議会議員との交流を行うことによって、議会活動に役立てることができた。
議会だよりの発行	1,800	市民に議会活動の状況をわかりやすく広報し、議会活動に対する理解と関心を高めた。また、次回定例会の案内を事前に行い議会への関心を高めるよう努めた。
政務調査費交付金	10,356	議員の調査研究活動のため、会派及び議員個人に政務調査費を交付した。本会議や委員会での提言、質問、意見等に反映された。

(2) 総務施策

① 職員研修費

職員研修事業	5,093	時代に即応した人材育成及び職員の健康管理を重視した研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県市長会委託研修 75名 ・メンタルヘルス研修 117名 ・めざせ100彩健康づくりサポート隊 応援事業職員研修会 623名 平成15年度研修受講者 延べ 931名
--------	-------	---

② 広報費

広報・広聴事業	36,084	<ul style="list-style-type: none"> ○広報しばた <ul style="list-style-type: none"> ・年間発行回数：24回（毎月1・15日） ・年間ページ数：508ページ ○エフエムしばた <ul style="list-style-type: none"> ・緊急放送回数：91回 ・通常番組：情報ボックス、情報ランド、スポット放送、イベント告知 ○ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス件数：13,778件/月 ○市政懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：3回 参加人数：92人 ○市長への手紙 <ul style="list-style-type: none"> ・154件
---------	--------	--

③ 企画費

<p>新 市町村合併推進事業</p>	<p>13,881</p>	<p>紫雲寺町及び加治川村との合併を推進するため、任意協議会及び法定協議会を運営し、行財政制度の調整と建設計画の策定を行った。 また、住民説明会、広報、ホームページ等により、市民に情報提供を行った。 ・任意協議会の開催 5回 ・法定協議会の開催 1回 ・協議会だよりの発行 5回 ・住民説明会の開催</p> <p>合併協議報告書を全世帯に配布し、市内13会場で開催、延べ159人が出席した。</p>
<p>新 市町村合併記念事業</p>	<p>13,356</p>	<p>豊浦町との合併に向けた気運と住民の速やかな一体感の醸成を図るため、合併記念式典及び合併記念イベントを実施した。また、豊浦町との合併に至る経過等を記録した冊子を作成し、関係機関等へ配布した。 ・合併記念式典 実施日 7月7日 出席者 約650人 ・七夕・出逢いの物語 実施日 7月5日 参加者 約1万1千人 ・「新発田市・豊浦町合併の記録」 1,000部作成</p>
<p>行政評価システム構築事業</p>	<p>10,617</p>	<p>「まちづくり総合計画」の実現に向けた「市民満足経営」、「安定経営」の確立を目指し構築した行政評価システムの精度向上を図るため、事務事業評価表及び、施策・基本事業評価表の総点検を行った他、旧豊浦町職員を対象とした行政評価研修等を実施した。 また、平成16年度当初予算編成では、事業経費について、行政評価を活用した「施策・基本事業企画会議」等を実施し、施策毎の予算枠配分の中で、事務事業の再構築を行った。 さらに、平成14年度事後評価結果については、平成15年10月にホームページと広報しばたで公表した。</p>
<p>核兵器廃絶平和都市宣言事業</p>	<p>842</p>	<p>広島平和記念式典へ市内各中学校から1名ずつ、計8名を派遣した。また、原爆パネル展を8月に17日間開催し、341人の入場者数を得た。</p>
<p>女性政策推進事業</p>	<p>1,000</p>	<p>男女共同参画社会形成に向けて、男女共生市民講座（131名受講）、しばた女と男のフェスティバル（280名参加）等意識啓発事業を実施した。</p>
<p>コミュニティづくり推進事業</p>	<p>2,945</p>	<p>コミュニティ活動を支援するため、舟入町2丁目コミュニティ実行委員会ほか、2団体に備品購入費等の一部を助成した。</p>

公会堂等建築補助事業	7,642	高浜町内会ほか6つの自治会に公会堂の新築、改築等工事費の一部を助成した。
新発田市・加賀市友好都市交流補助事業	177	新発田ソフトバレーボールクラブが9月14日～15日に、新発田菓子業組合が9月28日～29日に加賀市の団体と交流したときのバス借上げ料の一部を助成した。
コミュニティセンター建設事業	8,600	西新発田駅前土地区画整理事業に係る仮換地により、住吉コミュニティセンターの建物改修及び自転車小屋の移転を行った。

④ 生涯学習費

生涯学習センター事業	5,846	<p>広く市民に学習機会を提供し、心豊かな生活ができるよう各種講座、セミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイリス大学（全7回、受講者182名）、英会話、音楽セミナー、ピアノ教室、パソコン講座等各種講座の開催や、新潟大学、（財）新潟県文化振興財団、敬和学園大学、新潟職業短期大学などとの連携講座も開催した。
------------	-------	---

⑤ 市民ギャラリー運営事業費

市民ギャラリー運営事業	2,518	<p>市民の創作成果を気軽に発表する場所と機会を提供するとともに、作品展示を通じ、障害者、高齢者、健常者の交流、仲間づくりを支援した。</p> <p>展示回数 38回 来館者数 11,104人</p>
-------------	-------	--

⑥ 電子計算費

庁内ホストコンピュータシステム運営管理事業	37,345	<p>基幹システムの保守管理とセキュリティ対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹端末ウィルス対策144台他
庁内コンピュータ機器維持管理事業	133,038	<p>基幹システムに係る機器類の維持管理及び合併対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 端末等増設27台、豊浦システムの廃止
行政情報システム再構築事業	167,055	<p>税法改正等に伴う固定資産税ほか基幹システムの改造を行った。</p> <p>豊浦町との基幹システムの統合に係るデータ移行及び検証を行った。</p>
住民基本台帳ネットワークシステム構築事業	9,723	<p>住民基本台帳ネットワークシステムの2次稼働への対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民票写しの広域交付、住民基本台帳カードの交付など

⑦ 情報システム構築費

情報化推進事業費	63,876	<p>庁内LANシステムの維持管理と新規配備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存端末375台、新設69台 <p>総合行政ネットワークへの接続及び情報化実施計画の策定など情報化の推進に努めた。</p>
----------	--------	---

⑧ 交通安全対策費

交通安全教育と安全思想の普及事業	10,689	警察、交通安全機関等と協力し、交通安全活動に努めた。
放置自転車対策事業	3,318	新発田駅周辺の公共場所に放置されている自転車に対し、警告等を行った。 ・ 警告台数 1,125台 撤去台数 661台 引取台数 276台

⑨ 人権擁護費

人権啓発推進事業	755	人権を尊重する市民意識の醸成を図るため、人権啓発事業を実施した。 ・ マナビィ・人権フェスティバル事業 (参加者5,552名) ・ 人権学習会講師派遣事業 (7団体) ・ 人権講演会 (参加者200名)
----------	-----	--

⑩ 財産管理費

「福祉のまちづくり条例」に係る本庁舎改修事業	2,415	高齢者や障害者が安心して庁舎を利用できるよう、トイレの改修、階段の手摺及び滑り止め等の整備を行った。
------------------------	-------	--

⑪ 賦課徴収費

標準宅地鑑定評価委託事業	4,219	鑑定評価により把握した地価の下落状況の結果を基に基準年度(平成15年度)の価格に下落修正を行い、より適正な固定資産税評価(土地)を実施し、納税者の信頼確保に努めた。 ・ 時点修正委託標準宅地数287地点
--------------	-------	--

⑫ 戸籍住民基本台帳費

戸籍総合システム事業	1,094	戸籍の一部システムにより、戸籍の記載及び除籍の検索をマイクロフィルムで行い、正確かつ効率的な戸籍事務及び証明発行により市民サービスの向上を図った。
窓口システム事業	6,871	窓口事務のシステム化により、迅速かつ確実な証明等の発行がなされ、市民サービスの向上が図られた。

⑬ 戸籍コンピューター化事業

戸籍コンピューター化事業	114,527	戸籍のコンピューター化を行い、戸籍事務の円滑化と事務処理の効率化を図った。 ・ 戸籍コンピューター化(改製日平成15年12月13日) ・ 改製した戸籍(電算化戸籍)35,933戸籍
--------------	---------	--

⑭ 選挙費

新潟県議会議員一般選挙	23,121	平成15年4月13日執行
新発田市議会議員一般選挙	37,659	平成15年4月27日執行
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査	42,588	平成15年11月9日執行
本田財産区議会議員一般選挙	794	平成15年12月21日執行(無投票)

⑮ 統計調査費

統計調査員確保対策及び研修事業	95	統計調査員の確保や資質の向上のための研修事業等を行った。
統計調査事業	7,246	・ 研修24名参加（小千谷市統計調査員との意見交換会等） 住宅・土地統計調査（約1,000世帯）工業統計調査（326事業所）等を実施した。

(3) 民生施策

① 障害福祉費

在宅障害者福祉事業	243,905	障害者基本法の理念を踏まえ、障害者の自立と社会参加のため、障害の軽減を図り、障害者の年齢・種別程度に応じ、適切な医療保護、手当、用具の給付等調和のとれた在宅障害者福祉事業を実施した。
（重度心身障害者医療費扶助）	(87,480)	・ 重度心身障害者医療費扶助 30,522件
（重度心身障害者特別障害者手当の支給）	(97,340)	・ 重度心身障害者特別障害者手当年間受給者数 3,866件
（重度心身障害者日常生活用具の支給）	(5,329)	・ 住宅改修（洋式便器取替）、拡大読書器、入浴補助用具、特殊寝台、パソコン、歩行支援用具 他 71件
（重度心身障害者手当の支給）	(2,586)	・ 豊浦地区のみ 18千円×145人
（在宅重度心身障害者見舞金）	(2,940)	・ 在宅重度心身障害者で介護を要する人に見舞金を支給した。年額 30千円 98件
（更生医療費の給付）	(15,286)	・ 各種障害の除去又は軽減のため手術費用等を支給した。ペースメーカー埋め込み他 162件
（補装具の給付）	(23,030)	・ 車イス、下肢装具、補聴器、他器具修理等の給付 210件
（移動支援事業）	(827)	・ 自動車改造（本人運転）5件 運転免許取得 2件 自動車改造（介護者運転）1件
（福祉タクシーの一部助成）	(7,396)	・ 福祉タクシー料金利用助成 657人 8,012枚 ・ リフト付タクシー料金利用助成140人 1,125枚
（障害者社会参加促進事業）	(965)	・ 手話奉仕員養成事業、手話奉仕員派遣事業、声の広報発行事業 （新発田市社会福祉協議会へ委託）
（重度心身障害者等紙おむつ購入費補助）	(726)	・ 月額 2,500円助成 290件
新 支援費支給事業	372,429	障害者の在宅サービス、施設サービスにおける必要なサービス量を決定し、支援費を支給することにより障害者の生活の安定と自立や社会参加にむけた更生援護を推進した。
（身体障害者施設訓練等支援）	(39,237)	・ 新潟みずほ園 他5施設 12人
（知的障害者施設訓練等支援）	(313,846)	・ 緑風園 他10施設 146人

(身体障害者居宅生活支援)	(9,388)	身体障害者の在宅サービスとして、ホームヘルパー、ショートステイ、デイサービス事業を行った。 ・社会福祉協議会 他2事業所、2施設 44人
(障害児・知的障害者居宅生活支援)	(8,999)	障害児、知的障害者の在宅サービスとして、ホームヘルパー、ショートステイ、グループホーム事業を行った。 ・社会福祉協議会 他1事業所、9施設 51人
(知的障害者通勤寮支援)	(959)	就労している知的障害者を一定期間施設に入所させ、自立生活訓練をする費用を支援した。 ・三条市知的障害者通勤寮「長久の家」 1人
社会福祉法人・団体等の育成事業	89,307	社会福祉法人運営施設の入所者、施設利用者に対する経費及び各種団体の活動に対して、事業運営の助成を行い活動の進展と活発化を図った。
(福)阿賀北福社会負担金)	(2,270)	
(福)七穂会負担金)	(203)	
(下越障害福祉事務組合負担金)	(73,402)	
(福)のぞみの家福社会補助金)	(8,021)	
(福)みずほ福社会負担金)	(180)	
(加治川郷負担金)	(1,743)	
(新潟県手をつなぐ育成会新発田大会開催市負担金)	(200)	
(各種団体の補助)	(3,288)	・新発田市身体障害者団体連合会 150千円 ・身体障害者第3地区スポーツ大会 70千円 ・新発田市手をつなぐ育成会 2,968千円 ・新発田地区腎友会 100千円
障害者ふれあいルーム事業	574	障害者の自己表現の場を増やし、仲間同士の交流、情報交換の場を提供し、コミュニケーション能力の向上や手先の感覚刺激を通し、身体機能の向上を図るため各種教室を開催した。 ・パソコン初級・中級、ギター、童謡、絵画、園芸教室、社会資源活用講座を開催。 参加者総数423人

② 老人福祉費

高齢者自立支援家事援助サービス事業	12,873	要介護認定において「非該当」と認定されたが、支援が必要な高齢者33人に対して、市が福祉施策として自立支援に向けてサービスを提供した。
高齢者デイサービス事業	3,122	介護保険制度施行前からデイサービスセンターを利用していた高齢者等の中で、介護保険の対象外となった高齢者12人に対して、引き続きサービスを提供した。
生活支援短期入所事業	110	介護保険で要支援・要介護まで至らないが養護が必要な高齢者を、養護する家族に代わって一時的に養護する必要がある場合に、特別養護老人ホーム等に入所させて、サービスを提供した。 利用者数 2名。

配食サービス事業	7,797	介護認定を受けた65歳以上の単身又は高齢者のみの世帯で、調理が困難な187人にバランスのとれた食事を提供し、併せて安否の確認を行った。
訪問介護低所得者負担金扶助	2,120	介護保険制度施行時にホームヘルプサービスを利用していた低所得者がホームヘルプサービスを受ける場合の利用負担金を10%から3%（6月から6%）に軽減した。 該当者 障害者32人 高齢者60人
在宅介護支援センター事業	44,779	在宅高齢者の介護に関する相談、各種保険・医療・福祉サービスの提供が総合的に受けられるよう関係機関と調整し、在宅での生活を支援した。 相談件数 5,574件 実態把握件数 2,044件 介護予防教室 26回 671人
ふれあい学院運営事業委託	452	訪問介護員2・3級養成講座を実施した。 受講者 2級 35名 3級 22名
緊急通報装置設置事業	3,286	高齢者等の緊急事態に対処するため、緊急通報装置を設置した。 設置者 102世帯
高齢者福祉電話設置事業	644	高齢者等の安否確認及び相談に対応するため、福祉電話を貸与し、基本料金を扶助した。 貸与者 29世帯
高齢者日常生活用具給付事業	353	一人暮らし等の低所得高齢者の生活の利便と安全を図るため、日常生活用具を給付した。 給付者 9人
寝たきり高齢者家庭援助事業	18,634	清潔で心地よい生活を確保するとともに、家族の身体的、経済的負担の軽減と福祉の向上を図った。 布おむつ貸与者 1人 紙おむつ購入助成券交付者 897人
寝たきり高齢者寝具乾燥事業	557	寝具の丸洗いや乾燥を行い、衛生の保持及び福祉の増進を図った。 利用者 33人
高齢者向け住宅整備補助事業	6,081	身体状況に適した住宅改造を行い、自立した生活を送り、介護者の負担を軽減することができるよう、住宅整備に要した経費の補助を行った。 利用者 14人
社会福祉法人利用者負担減額補助事業	5,652	介護保険サービス利用の低所得者に減額利用をさせている社会福祉法人に対して補助した。 助成対象者 148人
給食サービス運営事業補助	2,211	70歳以上の一人暮らし高齢者の健康増進と孤独感の解消を図るため、ボランティア給食サービス事業に補助を行った。 利用者 100人
在宅介護者感謝の集い事業	270	家庭で寝たきり高齢者の介護をしている家族59人に、日頃の労をねぎらうため交流の場を提供する事業を実施した。

介護サービス利用者負担金扶助	633	居宅介護サービス利用の低所得者に利用者負担金を助成した。 利用者 139人
老人福祉センター金欄荘負担金	22,575	高齢者の教養の向上やレクリエーション等の便宜に供するため、金欄荘運営事業の助成を行った。 延利用者数 15,121人
養護老人ホーム入所措置事業	120,301	在宅での生活が困難と認められる一人暮らし等の高齢者に養護老人ホームの入所措置を行った。 対象者 70人
新発田地域老人福祉保健事務組合負担金	18,415	養護老人ホームの環境整備を行い、施設の安全性を高めるため助成した。
特別養護老人ホーム建設借入金償還金（二王子会）	55,569	二の丸（4,258千円） とっさか（15,975千円） つきおかの里（35,336千円）
新 あやめ寮改築事業負担金	50,663	養護老人ホームあやめ寮の改築負担金。
老人医療費扶助事業	1,240	65歳以上の一人暮らし高齢者及び寝たきり高齢者に対して医療費給付を行った。 年間延べ利用者数 193人 助成延べ件数 428件
介護相談員派遣事業	1,726	介護サービスの提供の4施設に介護相談員が訪問し、利用者から直接話を聞き、疑問や不満、不安の解消を図るとともに、施設へも伝達し介護サービスの質的向上を図った。 相談件数 92件（うち解消件数 4件）
外国人高齢者福祉手当扶助事業	720	日本国籍を有しないため老齢年金を受給できない外国人に福祉手当を支給した。 対象者 7人
豊浦福祉センター運営事業	15,426	心身の保護、レクリエーションの便宜等を総合的に供与し福祉の向上を図った。 入館者数 36,483人
地域ふれあいルーム事業	16,244	一人暮らし等で家に閉じこもりがちな高齢者に、集いや交流の場を提供して孤立感を解消し、要介護状態への移行防止を図った。 実利用人数2,721人 延利用者数13,103人
敬老会開催事業	25,298	長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した高齢者に対し感謝と労をねぎらい、また、高齢者を敬う意識の向上を図るため13ヵ所で敬老会を開催した。
高齢者生きがい創造事業	66,788	高齢者が文化、奉仕、健康活動等を通じて生きがいづくりを推進できるよう、各種趣味の教室、高齢者作品展、芸能発表会やゲートボール大会、スポーツ大会の開催やシルバー人材センター、老人クラブの支援を行った。

③ 国民年金費

国民年金事業	1,364	老齢、障害又は死亡により、生活の安定がそこなわれることを防止し、生活の維持及び向上に寄与するため、市広報などによる国民年金制度の普及推進とともに国民年金の事務事業を実施した。
--------	-------	---

④ 地方改善事業費

人権啓発活動地方委託事業	241	人権・同和問題の早期解決に向けて講演会開催等を実施し、同和問題に関する偏見や差別意識の解消に努めた。
同和地区啓発活動補助事業	2,300	
隣保館運営事業	10,025	基本事業として、社会調査及び研究事業、相談事業、啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業、貸館事業等、特別事業として地域交流促進事業等を実施した。
社会同和教育推進事業	1,651	部落差別の解消に向けて、積極的な啓発活動を行うとともに、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるため、講座や講演会等を開催し、基本的人権を尊重する精神の涵養と実践力の育成を図った。

⑤ 児童福祉費

母子・児童福祉事業 (ひとり親家庭医療費扶助)	555,187 (32,611)	18歳未満の児童を養育している父子家庭・母子家庭に対し自己負担医療費を扶助し、疾病の早期治療を促進し、健康で明るい家庭生活の維持に努めた。 支給対象者 643人
(児童扶養手当費)	(245,806)	父母の離婚などにより父と生計を同じくしていない児童を養育している人に手当を支給し、児童の健全な成長と養育、家庭生活の安定と自立促進に努めた。 支給対象者 561人
(児童手当の扶助)	(276,770)	家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため、所得制限限度内の人に手当を支給した。 児童手当 113,725千円 特例給付 10,480千円 就学前特例給付 152,565千円
認可保育園維持補修(16園)	14,649	児童の健全な育成及び資質の向上を図るため、保育環境の維持・改善を行った。 中井保育園外壁他改修工事 6,090千円 他
私立保育園運営委託料(5園)	410,886	保育に欠ける世帯において、保護者のニーズに応え世帯の負担軽減及び児童の健全育成のために、私立5園に保育を委託した。

エンゼルプラン推進事業	58,992	女性の社会進出に伴い、年々高まっている保育ニーズに応えるため、延長保育、一時保育・障害児保育等の事業を実施する私立保育園へ補助をするとともに、公立でも障害児に対し、専属のパートを配置して、保育サービス及び子育て支援の充実を図った。 私立保育園特別保育事業補助金 39,850千円 他
へき地保育所維持補修（7保育所）	1,248	老朽化の著しいへき地保育所施設及び備品を修復した。 修繕料 669千円 原材料費 579千円
へき地保育所運営委託料（7保育所）	7,743	7地域のへき地保育所運営委員会へ委託した。 入所児童数 延べ1,219人
子育て支援事業交付金	4,839	出生率の向上と次代の社会を担う子どもの健やかな成長に寄与することを目的とし、安心して子どもを産み育てることができる社会環境づくりのため、第3子以降を出産した者等に対し、当該児の養育費用の一部を交付した。 交付件数 97件（1件の上限額5万円）
情操教育推進事業 （みどりの新発田っ子プラン推進事業）	1,410	園児が心やさしく情操豊かな人間として育つように、植物の栽培、動物の飼育等の事業を公立16園、私立5園で実施した。
新 保育園建設事業	585,100	川東保育園とへき地保育所（宮古木・板山・虎丸・上三光）を統合し、新たに150人定員規模の保育園舎を建設した。 木造平屋建造 1,818.7㎡ 建設工事費 538,619千円
新 へき地保育所解体補助事業	13,335	川東保育園との統合により、閉所したへき地保育所の解体費用を保育所のある自治会（区）に補助した。
子育て支援事業	1,500	遊びの場や親の友達作りの場の提供、育児相談、育児講座を開催し、親の育児ストレスや不安の解消を図った。 各種講座開催 32回
家庭児童相談員事業	3,633	子育てに不安を持つ親に安心して子育てをしてもらうため、適切な相談指導を行った。 相談延件数 981件
新 子ども発達相談事業	4,494	ことばの遅れや行動面及び、心身の発達上の心配をもつ子どもと保護者等に対し、相談に応じ適切な療育を行った。 相談実数 81件 相談、指導延件数 616件

ファミリーサポートセンター事業	2,325	<p>育児と仕事の両立及び、子育て家庭の育児を支援するため、ファミリーサポートセンターが「育児の援助が必要な会員」に「育児の援助ができる会員」を紹介し、地域で子育てを支援した。</p> <p>主な活動内容として、保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり、保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助等。</p> <p>活動件数 543件 会員数 212人</p>
遺児激励事業	2,318	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化会館主催事業招待 (1回) ・ 親子バスハイク (2回) ・ 入学・進学・卒業祝い ・ クリスマスプレゼント ・ 新発田市みどり会事業助成
児童広場維持管理事業	4,719	<p>遊具の設置、修理及び維持管理を行なった。</p> <p>・ 遊具設置 2基 遊具修繕 39基</p>

⑥ 青少年健全育成費

青少年健全育成事業	20,221	<ul style="list-style-type: none"> ・ センター管理運営事業 ・ 育成センター運営審議会 (1回) ・ 児童センター分館運営委員会 (8回) ・ 市民会議活動助成 ・ 母親クラブ活動の推進 ・ 青少年健全育成地域活動推進事業 (指定7中学校区) ・ 青少年団体活動助成 (市子ども会連合会等4団体) ・ 青少年団体交歓事業 ・ 青少年健全育成講演会の開催 ・ 通常補導 (補導車による巡視) ・ 特別補導 (新発田まつりパトロール等) ・ 列車内補導 (2回) ・ 愛のパトロール (各小・中学校と協力し夏休み期間中実施) ・ 補導委員会研修会 (視察研修2回、通常研修5回) ・ 面接相談・電話相談 99回 ・ 相談員研修 (視察研修2回・通常研修5回)
-----------	--------	---

児童センター活動事業	4,126	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親子であそぼ (3期21回参加者1,524人) ・ チャレンジクラブ (8教室各10回参加者969人) ・ 児童文化普及活動 (21事業、参加者1,929人) ・ サマースクール (10校参加者278人) ・ 青少年ボランティア (延べ参加人数47人)
放課後児童健全育成事業	33,557	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後留守家庭の児童クラブ活動 (クラブ数 8箇所) (クラブ登録児童数 761人)
新 青少年宿泊施設整備事業	24,803	陸上競技場や野球場などの運動施設や公園と連携した青少年宿泊施設を整備するため用地を取得した。

⑦ 生活保護費

生活保護扶助費の支給	523,925	<p>生活に困窮する被保護者に対して必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに自立助長を図った。</p> <p style="text-align: right;">年間被保護延べ世帯数 3,840世帯</p>
------------	---------	--

⑧ 社会福祉事業推進費

民間福祉団体育成事業	36,869	社会福祉法人新発田市社会福祉協議会に対して助成を行い、民間福祉団体の育成に努め地域の社会福祉活動の増進を図った。
(福)社会福祉協議会運営費補助金)	(31,092)	
(民生委員児童委員連合会補助金)	(5,777)	
社会福祉センター(ボランティアセンター)事業	26,810	ボランティア活動と地域福祉・在宅福祉活動の拠点として、社会福祉の推進を図った。
(社会福祉センター運営費補助)	(21,207)	市並びに関係機関、団体等と密接な連携を図りながら、地域住民の参加を基盤にした地域福祉活動を推進するための事業を展開した。
(ボランティア活動推進事業補助)	(1,378)	
(ボランティア車運営事業補助)	(902)	
(ボランティアフェスティバル負担金)	(900)	
(相談事業委託)	(2,423)	
		<p>社会福祉協議会に事業を委託し、心配ごと相談所(市役所内)を開設し、適切な助言指導を行った。</p> <p style="text-align: right;">心配ごと相談 542件 結婚相談 103件</p>

(4) 衛生施策

① 保健衛生費

県立新発田病院整備促進事業	300	新発田病院の移転新築に向け、整備促進期成同盟会を通じて、事業の促進を図った。
地区組織育成事業	3,460	健康の保持増進と生活環境の健全化を目指し新発田市保健自治会の育成に努めた。
老人保健事業	165,864	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診査（基本健康診査、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診） ・ 健康相談、健康教育 ・ 健康度評価事業 ・ 訪問指導 ・ 健康診査一括申込み ・ 健康手帳の交付 ・ 結核予防検診 ・ 骨粗しょう症健診事業 ・ 肝炎ウィルス検診
母子保健事業	25,550	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦健診、乳児健診、妊婦歯科健診、乳幼児歯科健診 ・ 1歳6か月児健診、3歳児健診 ・ 新生児訪問、2か月児訪問 ・ 集団プレー、育児相談、育児教室、母親教室、栄養強化事業 ・ ブックスタート事業、母子手帳交付事業
乳幼児医療費助成事業	80,299	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の医療費助成 ・ 乳児医療費助成 18,058千円 ・ 幼児医療費助成（3歳児まで）62,241千円
歯科保健事業	4,437	<ul style="list-style-type: none"> ・ フッ素塗布 ・ 成人歯科健診、6歳児歯科健診 ・ むし歯予防教室、歯の健診と相談 ・ 歯科保健推進協議会 ・ 歯科保健推進校事業
栄養事業	1,795	市民に正しい食生活の普及を図るため栄養教室等を実施した。
新 めざせ100彩健康づくり推進事業	4,570	子どもの頃からの健全な生活習慣確立及び成人期の生活習慣改善のため、「望ましい食習慣の確立・定着」「運動習慣の定着」を三本柱に事業展開を図った。
健康づくりフェスティバル事業	1,000	市民への健康づくり活動啓発事業を実施した。
健康ウォーク事業	1,080	健康ウォークを実施した。

簡易水道整備事業	7,067	揚水試験と水質試験を実施し、計画水量と、水質基準を満たしていることを確認した。 井戸掘削工事 工事場所 山内地区 2箇所 井戸口径 250mm (さく井口径400mm) 井戸深度 21m、22m
精神保健福祉事業 (啓発普及団体支援)	27,260 (2,985)	精神障害者社会復帰検討会及び啓発普及事業を実施するため、検討会や講座を開催した。 通所作業所の運営支援と家族会の活性化を図るためのサービスを提供するため、しば草会や精神障害者家族連絡協議会に助成を行った。
(在宅支援)	(4,171)	ホームヘルパーの派遣をはじめ短期入所事業、グループホーム運営支援など自立支援のためのサービスを提供するため、曙会グループホームに助成を行った。
(精神障害者通所授産施設運営委託)	(19,014)	自立生活、社会復帰に必要な訓練及び指導を行う通所授産施設の運営として、夢工房しば草に委託した。
(精神障害者医療費助成)	(1,090)	精神障害者入院医療費助成(旧豊浦町限定)12人

② 予防費

予防接種事業	58,399	予防接種実施体制の定着を図り、定期予防接種(ポリオ、三種混合、二種混合、風疹、麻疹、日本脳炎)を安全に実施し疾病の流行防止に努めた。 結核予防法に基づくツベルクリン検査及びBCG接種を実施した。 高齢者のインフルエンザ予防接種を開始した。
--------	--------	---

③ 公衆浴場確保対策費

公衆浴場設備改善事業	216	公衆浴場存続のため、シャワー用モーターの入替など入浴設備の改善に要した費用の一部を補助した。
公衆浴場経営維持事業	1,470	公衆浴場経営に要する水道料金、燃料費を補助した。
公衆浴場無料入浴事業	1,215	家庭風呂のない高齢者や母子世帯、生活保護世帯等を対象として、無料入浴券を交付した。 無料入浴券利用枚数 3,354枚

④ 畜犬・衛生費

狂犬病予防推進事業	1,119	畜犬登録により狂犬病予防推進に努め、地域公衆衛生の充実を図った。 畜犬の登録手数料 407件 狂犬病予防注射済票交付手数料 4,232件 登録再交付 7件
-----------	-------	--

⑤ 環境衛生費

環境衛生対策事業 (衛生害虫防除薬剤助成)	7,864 (715)	衛生害虫による健康被害を防止するため、自治会等で実施する防除事業の薬剤代金の一部を助成した。 個人 1件 882円 町内会・自治会 35件 714,878円
(食葉・不快害虫等防除事業)	(7,149)	公共施設や個人の樹木保全に努め、市街地における公衆衛生の推進を図った。 公共施設 52件 町内会・自治会 69件 個人 405件 ユスリカ 2,602,950円 アメシロ 4,546,000円

⑥ 公害対策費

環境美化推進事業 (クリーン作戦)	4,391 (506)	新発田市大クリーン作戦では、6月8日の統一実施日前後を含め約1万7千人が参加し、市内全域の一斉清掃を実施した。 ごみの不法投棄常習地も当事業により着実に改善され、収集量も約52トンと年々減少効果が表れてきた。
(環境美化推進業務委託料)	(3,000)	環境美化を推進することを目的として、飼い犬のふん害の把握と撤去をはじめ、不法投棄ごみの回収等を委託した。 公園等における犬のふんの回収が延べ535箇所、家電リサイクル法対象品目回収53台、タイヤの回収63本、猫等の死骸の回収34体、その他不法投棄ごみの発見・回収を行った。
(不法投棄防止巡回警備委託)	(885)	ごみの不法投棄防止のため、不法投棄常習箇所の夜間・早朝巡回警備を委託した。 巡回実施 10地点中心に延べ108回

⑦ 塵芥処理費

ごみ減量資源回収事業	119,929	資源ごみの収集処理及び各種支援事業によりごみの減量、リサイクルの推進を図った。
(資源ごみ収集処理)	(116,997)	資源ごみ収集量 5,644t リサイクル率 25.2%
(生ごみ処理機器購入支援)	(1,501)	コンポスト容器 123個 EM密閉式容器 117個 電動生ごみ処理機 47台
(ごみステーション設置支援)	(829)	実施団体数 14団体 設置箇所 22箇所

(資源ごみ集団回収奨励金交付)	(602)	登録団体数 36団体 回収量 古紙 104,670kg 布 26kg アルミ缶 7,884kg スチール缶 19kg
-----------------	-------	--

(5) 労働施策

① 勤労青少年事業費

勤労青少年事業	2,355	働く青少年に対して、教養及びスポーツ講座の開催や自主サークルへの育成支援を行った。
---------	-------	---

② 労働諸費

緊急地域雇用対策事業	65,663	緊急地域雇用創出特別基金事業を活用し、本市が抱えるさまざまな分野の課題の解決を進めた。
(ごみの減量、再資源化及び不法投棄防止推進事業)	(23,169)	ごみの減量、再資源化及び不法投棄防止推進事業で失業者を雇用した。 新規雇用の失業者数 30人
(五十公野山赤松林再生事業)	(1,833)	小灌木や下草・腐葉土等を除去することにより、五十公野山の一部を林内の散策等も可能な赤松林に再生し、市民の憩い空間を広げた。
(河川環境整備事業)	(8,715)	加治川・姫田川の河川敷内の雑木を伐採した。
(情報教育推進事業)	(4,800)	コンピューターアドバイザー4名を市内全小・中学校に派遣し、教職員にコンピュータ操作及びトラブルの対処を含め、指導・助言を行い、コンピュータ活用授業の円滑な推進を図った。
(学習指導強化事業)	(12,530)	小・中学校で教職員の補助的役割(チームティーチング指導等)を行い、学習指導が強化され円滑に授業が進められた。
(民具整理・展示事業)	(1,650)	市民等から寄贈を受け収蔵している昔の生活用具や農機具などの民俗資料を整理・調査し、台帳記入を行った。
(歴史的建造物調査・観光資源発掘事業)	(5,806)	文化財の掘り起こしと保存活用を目的に、築後50年以上経過した民家を対象に現地調査し、台帳整理を行った。 観光体系の確立を図るため、市内の祭礼行事等、観光資源の発掘調査を行った。
(安全・安心な街づくり推進事業)	(6,179)	交通安全と防犯パトロール活動の強化を図り、2人1組3班体制で、月20日、4カ月間、家庭訪問活動や街頭におけるパトロール活動を推進し、交通事故防止と犯罪未然防止を図った。
(道路植樹帯等管理業務)	(418)	真木山中央公園の除草・雑木の切取り及び伐採による公園管理、並びに除草による道路植樹帯の維持管理を行った。
(観光公園美化事業(カリオンパーク))	(563)	月岡カリオンパークの除草や雑木の整理を実施し、観光公園としての景観保全に努めた。

住宅建設資金貸付事業	86,428	定住・持家の促進及び居住環境の向上を図るため、住宅の新築、増築、改築、改装、修繕又は購入の希望者への資金あっせんを行い、融資に対して預託した。
勤労者福利厚生活動事業	12,000	勤労者の福利厚生の上昇と雇用の安定促進に資するため、(財)新発田市勤労者福祉サービスセンターの管理運営費を補助した。

(6) 農林水産施策

① 農業委員会費

農業者年金事業	2,058	新農業者年金制度への加入促進と的確な経営移譲による年金受給と、担い手の育成及び農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図り、将来に向けた農業経営の安定を推進した。
地域農業システム確立農地集積事業	2,339	認定農業者の経営規模の拡大と経営安定に資するため、認定農業者に対し、利用権設定等により農地の集積を行った場合、出し手農家に補助金を交付し、認定農業者の育成と農地の利用集積を推進して経営基盤の強化を図った。 対象件数 38件 面積 22.0ha

② 農業総務費

生産調整推進対策事業	11,977	水田対策大綱に基づき、転作の円滑な推進など米と大豆等を適切に組み合わせた収益性の高い水田農業の確立を目指し、米生産調整を推進した。
農業集落排水設備設置資金貸付事業	350	融資制度により、農業集落排水供用開始区域内の水洗化を促進した。 今年度融資実行件数 1件

③ 農業振興費

農業振興事業委託事業	9,790	本市の農業振興の基本方針と施策の審議及び農業振興事業の実施を新発田市農業振興協議会へ委託した。
カメムシ類防除対策事業	3,007	カメムシ類一斉防除の一環として河川堤防の草刈り作業を農家組合等へ委託した。
農業経営基盤強化資金利子助成	3,726	認定農業者が借り入れる農業経営基盤強化資金への利子助成を行った。
緊急農業経営安定対策資金利子助成事業	31	農産物価格の下落、生産調整の拡大による認定農業者等の経営圧迫に対応し、県とともに利子助成を行うことにより、地域農業の安定を図った。
経営基盤強化促進対策事業	661	農用地利用集積の推進や認定農業者制度の啓発などにより農業経営体の育成を推進した。
農林水産業総合振興事業 (土地利用型作物本化作化条件整備事業)	24,330 (15,295)	大豆本作化のため、JA北越後等へ栽培関連機械やクリーナーの導入に対して補助した。
新 (園芸産地育成強化事業)	(468)	地域重点品目の生産拡大のため、JA北越後が行ういちご保冷庫の整備に対して補助した。

(農業法人等育成緊急加速条件整備事業)	(5,486)	経営体等育成のため、(有)グリーンスタジアムと(有)佐々木耕起組合の営農用機械の導入に対して補助した。
新 (ふるさと活性化対策事業)	(3,081)	地域の生産体制の整備を図るため、田貝集落協定基盤整備部会の小規模土地基盤整備に対して補助した。
新 「新潟米」産地情報提供推進モデル事業	102	米のトレーサビリティシステムを構築するJ A北越後の活動に対して補助した。
農業経営改善資金貸付事業	21,287	農業経営改善のための資金の貸付けを行った。
施設園芸産地育成事業	4,471	アドバンファームしばたによる園芸作物栽培の施設化に対して補助し、収益性の高い園芸複合経営の育成を促進した。
地域農業確立対策事業	51,774	地域農業の振興を図るため、生産条件の整備、とも補償制度の活用による生産調整の推進、国・県補助事業導入等への支援実施を行った。
猿害対策事業	5,036	中山間地域等で頻発する猿の被害に対応するため、発信器等による動向監視と追い払い体制の整備を行った。
地域水田農業経営確立総合支援事業	2,916	大豆等の生産の組織化、栽培の団地化によって、生産性の高い土地利用型複合営農の推進を図った。
新 地域農業システムづくり推進事業	595	地域の実態に応じた集落営農づくりを推進するため、地区営農プランを策定した。
新規就農者支援事業	3,364	新規就農者支援のため、トラクターの導入に対して補助した。
農業生産総合対策事業	129	担い手の育成や生産の組織化を図りながら、消費者・実需者のニーズに基づいた品質の高い米・大豆の生産推進の活動に対してJ A北越後へ補助した。
中山間地域等直接支払交付事業	51,785	中山間地域等における生産条件に関する不利性の補正と、担い手の育成活動を支援することにより、中山間地域等の農業・農村が有する多面的機能の維持・増進を図った。
地場産農産物利用促進事業	782	学校給食等に地場産コシヒカリ及び地場産コシヒカリを利用した米粉パンを提供することによって、児童・生徒・保護者等(消費者)に対し、地域農業への理解を促進し、米の消費拡大を図った。
米対策緊急支援事業	466	米の生産調整の緊急拡大への支援策を講ずることによって米価の低落の防止及び農家経営の安定を図った。
土壌改良促進事業	47,276	消費者に安心して安全な農作物を提供することを目的に、土壌本来の機能を維持・増進するため、土壌改良資材の投入を行い、土壌環境の改善を図った。また、水田の土壌調査を実施した。

④ 畜産業費

新 畜産振興総合対策事業	112	飼養、経営管理技術向上の推進と畜産業の総合的な振興を推進した。
--------------	-----	---------------------------------

畜産環境美化事業	2,478	畜産農家で構成する米倉機械利用組合、川東酪農機械利用組合が、堆肥の有効利用による循環型農業を推進することを目的に、機械利用組合が行う堆肥散布機の導入に対して補助した。
資源循環型社会づくり事業	117,014	土づくりによる資源循環型社会の実現を図るための核となる「有機資源センター」の建設に向け、板山地区、米倉地区において設計調査、環境アセスメントを実施するとともに、「菜の花ロード形成事業」により菜の花団地を形成し市民に対する資源循環のPRを行った。
新 県産飼料イネ拡大事業	1,197	稲発酵粗飼料の利用拡大推進支援として稲発酵粗飼料を利用する畜産農家に対して助成した。

⑤ 農地費

担い手育成農地集積事業	1,309	県営担い手育成基盤整備事業実施地区における農地集積の円滑な推進を図った。
県営担い手育成基盤整備事業	140,215	県営ほ場整備事業に対する負担金
（新発田北部地区）	(23,840)	暗渠工 72h a
（坂井川右岸地区）	(29,283)	区画整理工 59h a
（加治川地区）	(867)	区画整理工 31h a
（加治川右岸地区）	(23,094)	区画整理工 22h a
（三悠乙見江地区）	(29,684)	区画整理工 30h a
（蔵光地区）	(12,512)	区画整理工 8h a
（太斎地区）	(8,477)	機場工 一式
（川東地区）	(5,241)	実施設計
新 （川東2期地区）	(2,123)	実施設計
新 （佐々木南部郷地区）	(2,123)	実施設計
新 （米倉地区）	(2,123)	実施設計
新 （山内地区）	(848)	実施設計
農業農村整備事業調査計画事業（五十公野地区）	2,006	ほ場整備事業実施予定地区において県営、団体営で行う調査計画事業に対して補助した。
県営かんがい排水事業（排水対策特別）	14,875	城下地区 ・事業費 73,500千円に対する負担金 排水路整備 L = 570m
国営造成施設管理体制促進事業	9,981	国営造成施設・県営付帯造成施設の管理体制整備
（加治川地区）	(1,897)	の支援助成により土地改良費の負担軽減と農業生産
（阿賀野川地区）	(8,084)	環境の改善に努めた。
国営阿賀野川施設整備事業	797	阿賀野川用水取水施設整備に係る償還金
県営基幹水利施設補修事業	1,575	事業費 122,850千円に対する負担金 ・阿賀野川用水幹線施設補修費
新 県営大規模湛水防除事業（新発田東部）	3,894	事業費 45,496千円に対する負担金 ・概略設計 一式

農道補修用原材料支給事業	16,999	農道の機能確保を図るため、地域に対して敷砂利、生コンクリート、二次製品等を支給した。 ・敷砂利 1,792m ³ 5,725千円 ・生コン 536m ³ 7,248千円 ・二次製品（U字溝等）4,026千円
--------------	--------	--

⑥ 農道整備費

県営北蒲原東部地区広域営農団地農道整備事業	34,868	事業費 280,000千円に対する負担金 ・小出地内 排水樋管工事 ・本間新田地内 改良工事 L=313m ・下中山地内 改良工事 L=172m ・下飯塚地内 JR跨線橋架設工事 県道交差点改良工事
県営広域関連農道下新保線整備事業	9,543	事業費 21,000千円に対する負担金 ・道路改良整備 L=340.4m
県営一般農道天王地区整備事業	23,360	事業費 93,440千円に対する負担金 ・用地買収 ・道路改良整備 L=360m

⑦ 農村基盤総合整備費

県営農村活性化住環境整備事業	49,163	菅谷地区 事業費 210,000千円に対する負担金 ・ほ場整備 湧水処理等完了整備 ・集落道改良工事 L=205.0m 舗装工事 L=425.0m ・排水路整備工事 L=113.0m
県営農村自然環境整備事業	18,648	豊栄地区（滝沢地内） 事業費 126,000千円に対する負担金 ・水芭蕉水辺環境整備 管理用道路 L=530m ・第5号農道改良工事 L=60m ・第4号集落排水路（測量試験・用地買収）

⑧ 農村振興総合整備費

新 農村振興総合整備事業	30,713	新発田東部地区五十公野排水路整備 ・実施測量設計 ・事業用地購入 A=2,157.41m ²
農村振興整備支援事業	1,005	ワークショップを4集落で実施 （米倉、大槻、中々山、山内）
農村総合整備関連上水道施設周辺整備事業	3,969	板山地区 配水施設周辺整備 ・場内舗装、門扉等

⑨ 林業振興費

松くい虫防除事業	7,926	五十公野山・真木山の松林を松くい虫から守るため、既被害木の伐倒による原因虫の駆除を行うとともに、五十公野山では44.5haを対象に薬剤の地上散布を、真木山では8haを対象に航空散布による防除事業を実施した。
民有林造林事業	2,315	五十公野山天然林8haについては小灌木の伐採や下草刈り、加治山人工林については1.4haを対象に除伐・枝打ちを実施し育成環境を整備した。
新 森林整備地域活動支援事業	3,753	森林施業計画を有する6つの施業団地に於いて、施業の実施に不可欠な地域活動を支援することにより、計画的・一体的な森林整備の推進と森林の有する多面的機能の発揮を図った。
広域基幹林道新発田南部線開設事業	29,976	中々山地内、荒川地内 事業費 180,000千円に対する負担金 ・林道開設工事 L = 366m ・林道舗装工事 L = 628m
森林公園整備事業	9,641	滝谷地内 ・炊事場、トイレ周辺整備 A = 328m ² ・樹木等植栽 一式 ・案内板設置 2基
林道維持事業	7,501	・新発田南部線法面保護工事 A = 467m ² ・大沢林道舗装工事 L = 180m
林道補修用原材料支給事業	1,098	林道大松線・大沢線・松岡線・金鉢線・赤倉岐線等を砂利及び生コンクリートを支給し補修を行った。 ・敷砂利 60m ³ ・生コン 45m ³

⑩ 水産業費

内水面特産品開発事業	1,300	サクラマスを中心とした内水面における特産品づくりを進めるため、ヤマメ稚魚育成、回帰数調査、無断捕獲監視、川の大切さのPR等を加治川漁業協同組合に事業委託した。
------------	-------	---

⑪ 発酵のまちづくり事業費

発酵のまちづくり推進事業	1,000	発酵活用食品開発指導等について発酵文化推進機構に業務委託したほか、発酵食品についてのアンケート調査を実施した。
--------------	-------	---

⑫ 有機資源循環推進事業費

有機資源循環推進事業	1,406	資源循環型社会の構築のための土づくり講演会を実施した。 ・開催日 11月26日 ・有機資源循環実践活動に対する補助 交付実績2件
------------	-------	---

(7) 商工観光施策

① 商工業振興費

商工観光振興事業	10,421	商業、工業、観光の各団体の横連携を促進し、活動の活性化と効果的、効率的な事業を推進するため、商工観光振興協議会に補助を行った。
制度融資貸付事業	642,168	中小企業者の経営安定と資金の円滑な調達と経営基盤の強化を図るための資金あっせんを行い、融資に対して預託を行った。 ・ 県地方産業育成資金 ・ 中小企業振興資金 ・ 中小企業活性化対策資金 ・ 経営安定化対策資金 ・ 空き店舗対策資金等
中小企業等振興事業奨励補助事業	200	市内特定地域へ進出した工場等に対して助成を行った。 ・ 助成対象1件
市街地活性化推進事業	29,181	地域独自の「自然景観」や城下町400年の「歴史資源」並びに「四季が織りなす伝統文化」を一同に会す市民参加型イベント「ふるさとしばたの物語」を開催し、産業振興並びに中心市街地の活性化を図った。

② 観光費

新発田市観光開発公社振興事業	47,168	各種イベントの開催や観光資源などのPRを通し、市内外から集客し、商業、物産など本市の産業並びに観光の振興に資するため、観光開発公社を支援した。
観光施設維持管理事業	50,409	ふるさと会館、旧県知事公社記念館、新発田温泉「あやめの湯」のほか、合併により月岡カリオンパーク等の観光施設の維持管理を加え、広域的な観光の振興に寄与した。
山岳観光推進事業	5,461	より一層の山岳観光の推進を図るため、各山岳観光施設の整備及び管理業務を行った。

③ 産業振興費

食品開発推進事業	30	食品関連の新技术開発と導入促進、新商品開発指導を行った。
融資貸付事業	109,750	西部工業団地、食品工業団地への進出企業及び団体の経営基盤の強化を図るため資金あっせんを行い、融資に対し預託を行った。
(西部工業団地立地特別資金貸付事業)	(102,940)	
(食品工業団地立地特別資金貸付事業)	(1,720)	
(中小企業団体共同施設等資金貸付事業)	(5,090)	
起業化・新産業創造支援事業	1,119	市内において優れたアイデアに基づき新しい技術の導入、画期的商品の開発、新規市場の創出、新事業の展開等新産業を創造する企業を支援した。
(新産業創造支援事業補助金)	(1,119)	・ 交付実績 2社

産業振興のまちづくり検討事業	86	産業振興・地域整備に関する懇談会を開催し、産業振興及び地域整備に関する施策・事業について検討・提言をいただいた。 ・懇談会の開催 2回
西部工業団地造成事業特別会計貸付金	868,624	平成15年度において不足が生じる「西部工業団地造成事業特別会計」へ貸付を行った。

(8) 建設施策

① 道路橋りょう総務費

法定外公共物管理事業	25,305	公共の用に供している菅谷南部地区・加治地区・米倉地区・赤谷地区内の里道・水路等の国有財産の譲与を受けた。
街灯整備事業	4,999	通勤路・通学路を中心に防犯灯を設置し、夜間の通行の安全を図った。
防犯灯維持管理事業	52,196	夜間の通行の安全確保のため、照明器具等の維持管理を行った。 ・防犯灯修理件数 3,565件

② 道路維持費

道路維持補修事業	176,137	安全で、良好な道路環境の整備を図るため、道路パトロールを強化し、迅速適切な維持補修を行った。
(道路維持工事費)	(103,647)	内の倉湖周線橋梁塗装工事等の道路維持工事を行った。 ・工事件数 84件
(道路補修)	(55,838)	市道の路面補修及び道路施設の修繕を行った。 ・補修修繕件数 285件
(道路側溝及び下水路清掃)	(7,619)	道路側溝及び下水路清掃を実施した。
(道路面清掃及び草刈等)	(9,033)	市道及びサイクリングロードの清掃及び除草を行った。

③ 道路新設改良費

市単独道路整備事業	727,591	市道の幹線道路・生活道路の改良整備
(道路新設改良工事)	(437,455)	・改良 62路線 L = 7,093m ・舗装 11路線 L = 1,846m
(測量設計委託費等)	(66,802)	・測量委託 7路線
(道路用地費)	(77,860)	
(道路物件補償費)	(93,781)	
(融雪施設設置費等)	(51,692)	・消雪施設 4箇所 L = 818m
バリアフリー歩道整備事業	8,925	歩道のバリアフリー化による整備 ・市道西塚中町線 L = 73.0m ・市道三の丸線 L = 66.0m
県営道路整備事業	73,445	国県道整備に対する負担金 ・国道460号歩道設置 他6路線

日本海沿岸東北自動車道建設関連事業	4,566	日本海東北自動車道の建設に伴う関連施設整備 ・下川改修工事 L = 59.5m
私道及び融雪施設整備事業	4,305	私道整備 5団体 2,625千円 融雪施設 1団体 1,680千円

④ 国庫補助道路整備事業

消雪施設整備事業	44,709	雪寒指定路線で交通量が多く、人家が密集していることから、消雪施設の整備により交通安全の確保を図った。 ・新井田中曾根線 L = 642m ・西新発田五十公野線 L = 501m
----------	--------	--

⑤ 安全施設整備事業費

交通安全施設整備事業 (カーブミラー等設置事業)	25,278 (6,546)	交通安全標識及びカーブミラー等、安全施設の整備点検を推進し、交通事故防止対策を図った。 ・歩道新設、改築工事 L = 263m ・その他 区画線の設置、防護柵の設置
(交通安全施設整備事業)	(18,732)	

⑥ 除雪費

除雪対策事業 (道路除雪事業及び除雪機械整備等)	240,942	冬期間における産業経済活動の安定と通勤、通学など市民生活に密着した道路確保のため、除雪対策事業を実施した。 ・除雪路線 (道路)市道：546.7km 未認定：54.4km (自歩道)市道：43.5km 県道：53.4km ・消雪パイプ 市道：67.2km その他：2.7km
-----------------------------	---------	---

⑦ 河川費

河川整備事業 (河川改修整備等)	74,485 (7,995)	河川の改修、浚渫、藻刈りの実施により悪臭防止対策等、河川環境の改善・整備を行った。 西園線護岸改築工事等の河川維持工事を行った。 ・工事件数 6件
(河川清掃等)	(53,821)	市内河川及び下水路の清掃を行った。 ・清掃等件数 126件
(河川除草等)	(12,669)	1・2級河川雑草刈等を行った。 ・1・2級河川雑草刈委託件数 31件

⑧ 河川新設改良費

河川新設改良事業 (新発田川局部改良工事) (本田川改修事業)	20,947 (9,019) (11,928)	老朽護岸の改善による水害の防止及び河川環境整備を図った。 ・新発田川護岸整備 L = 33.5m ・本田川改修整備 L = 369.0m
---------------------------------------	-------------------------------	--

⑨ 急傾斜地対策費

小規模急傾斜地崩壊対策事業	4,200	急傾斜地崩壊危険区域にある民地の保全を図った。 ・小規模急傾斜地崩壊防止工事 小戸地区 L = 15.1m
---------------	-------	---

(9) 都市計画施策

① 都市計画総務費

まちづくり総合支援事業	1,643,657	新発田駅前、中心市街地の活性化を図るため、下記事業を実施した。
(新発田駅前土地区画整理事業)	(973,880)	・実施計画・換地計画作成 一式 用地買収 A=13,111.83m ² 物件補償 1件
(中央町緑町線)	(453,889)	・補償再積算・設計委託 一式 用地買収 A=2,489.45m ² 物件補償 9件
(地域交流センター)	(215,888)	・旧一ノ瀬建物の改修工事 延床面積 2,084.18m ²
まちなみ環境整備事業	19,962	寺町・清水谷地区住民と協働により歴史的な街なみの保存・再生や住みよい環境を創造するための住環境整備を行った。 歩道整備 L=30m A=83m ² 防護柵 L=34m 高欄 L=4m
土地有効利用促進基礎調査資料作成業務	5,001	計画的な土地利用転換に取り組むため、土地利用に関する建築物の分布、土地利用現況など各種動向、実態、課題等について調査を行った。
(財)新発田市公園都市施設協会補助金	42,521	緑化の推進、文化、スポーツの振興及び公共施設の管理を行う当該協会に補助した。 ・人件費相当分補助
駅前開発調査推進事業	300	新発田駅前活性化推進協議会に助成し、地区住民の啓発活動を推進した。
建築指導事業	2,887	建築確認申請及び許可並びに建築工事届の受理、審査等に関する事業を行った。 ・建築確認申請受理 建築物 360件 建築設備・工作物等 11件 ・許可申請受理 17件 ・工事届の受理 60件
下水道排水設備設置資金貸付事業	4,391	融資制度により、公共下水道供用開始区域内の水洗化を促進した。 ・今年度融資実行件数 8件

② 土地区画整理事業費

西新発田駅前土地区画整理事業負担金	186,396	<p>西新発田駅前に広がる良好な宅地の創出と都市の外環状道路として交通渋滞の解消や高速交通体系確立に寄与する南バイパスの整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南バイパス改良工 L=1,220m ・西新発田五十公野線改良工 L=320m ・西新発田駅前広場整備工 A=4,000m² ・住吉南線改良工 L=480m ・御幸町住吉町線改良工 L=470m ・御幸町富塚町線改良工 L=430m ・区画道路整備工 6路線
-------------------	---------	--

③ 都市計画街路事業費

西新発田五十公野線整備事業（住吉工区）	128,723	<ul style="list-style-type: none"> ・整備延長 L=290m ・用地買収 A=581.06m² ・物件補償 5件
県営街路事業負担金	75,322	<ul style="list-style-type: none"> ・西新発田五十公野線（東新工区）整備延長 L=690m 改良工 L=150m JR横断工 1ヶ所 ・にぎわいロード施設整備工 A=549m²
	(73,272)	
	(2,050)	

④ 都市下水路費

自然災害防止事業	80,003	<p>市街地及びその周辺部の浸水の防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手町雨水幹線支線整備工事 <ul style="list-style-type: none"> φ1200更正工法 L= 88m ・谷内川排水路（地利目木谷内2号雨水幹線）整備工事 <ul style="list-style-type: none"> □1200×1100 L= 311m 舗装復旧工事 一式 水道管移設補償 一式
国庫補助下水路整備事業	10,006	新井田川1号雨水幹線測量設計 一式
排水路改築等工事補修事業	4,040	<p>宅地間等の排水路の整備を図るため、排水路を整備する4団体に対して事業費の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水路改築工事補助金 補助率2/3
側溝等清掃補助事業	3,424	<p>道路側溝清掃の労力負担を軽減するため、地域で清掃業者に委託する場合に事業費の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1mあたり300円 助成団体 27団体
新 水害対策事業	92,920	<p>水害対策用排水ポンプ場3ヶ所 （五十公野いわい団地排水ポンプ場） （緑町排水ポンプ場） （大手町排水ポンプ場）</p>

⑤ 防衛施設周辺整備事業費

防衛施設周辺整備事業	53,847	憩いとやすらぎ、交流の場を提供するため新発田城址公園の整備を行った。 ・新発田城址公園 A=3.63ha ・園路舗装工事、植栽工、電気設備制御盤設置工等
------------	--------	--

⑥ 公園費

自然と共生する水と緑と花のまちづくり事業	97,089	市民の憩いの場整備と快適な空間の確保のため、公園のリニューアル及び道路の緑化推進、保存樹木の適切な管理を行った。
(公園の改築事業)	(26,764)	すわのき公園再整備工事等の公園リニューアルを行った。 再整備公園数 8公園
(道路緑化整備)	(735)	市道松橋線コスモス播種工事を行った。
(公園の維持管理)	(65,867)	市内公園等及び赤谷線自転車歩行者道の維持管理(除草・樹木剪定・トイレ清掃等)を行った。
(緑化推進)	(3,432)	新発田市緑・花振興協会の活動に対し補助金等の支援を行った。
(保存樹木の管理)	(291)	市指定保存樹木の維持管理を行った。

⑦ 公営住宅管理費

公営住宅維持管理事業	28,287	市・県営住宅(8団地)の修繕、改修、設備の点検等を行い、入居者の住環境の維持管理を行った。 ・公営住宅改修工事費 17,918千円 他家賃算定、徴収、申込受付、入退去等、入居者管理を行った。 ・管理戸数 市営258戸 県営60戸 計318戸
------------	--------	--

⑧ 危険住宅移転事業費

新 掛け地近接等危険住宅移転事業	800	掛け地に近接した危険住宅に対し、補助要綱に基づき解体費の補助を行った。
------------------	-----	-------------------------------------

(10) 消防・防災施策

① 常備消防費

新発田地域広域事務組合負担金	746,590	老朽化した施設整備を改善し、環境整備に努めた。(黒川出張所屋上雨漏改修工事 1ヶ所) (車輛購入費) 中央出張所救急車(Ⅱ課程対応)1台 普通ポンプ車(防衛庁関連)1台 普通化学車 1台 複雑多様化する災害に対応するため、通信設備を整備し、初動体制の迅速化を図った。 救急救命士を養成し、再教育及び消防職員の専門的な知識と技術の向上に努めた。(参加者1名)
(消防施設整備事業)	(1,838)	
(消防設備整備事業)	(78,446)	
(通信指令システム整備事業)	(6,584)	
(職員研修事業)	(2,910)	

(幼年ふれあい広場事業)	(394)	構成市町村の保育園、幼稚園児合わせて778名、引率者72名の合計850名の参加で、幼年期における防災教育の啓発に努めた。
----------------	-------	--

② 非常備消防費

消防団活動推進事業	19,590	円滑な消防団活動を推進するため、訓練及び被服等の充実を図った。(防火衣・盛夏服・アポロキャップ・消防器具置場修理)
消防団員福祉対策事業	33,005	団員の福祉厚生対策を推進し、消防団の活性化に努めた。
消防団員報酬及び費用弁償	46,930	消防団員の報酬及び災害出動や災害予防活動における費用弁償。団員の資質向上を図るための訓練、研修費。

③ 消防施設整備事業費

消防施設設備整備事業	19,369	消防施設を整備するとともに、消火栓を設置し、消防力の強化を図った。 消防器具置場新設工事(石喜)消火栓設置工事等
消防団装備拡充事業	8,772	小型動力ポンプ及び資機材の軽量化を図り、装備の拡充に努めた。
防災基盤整備事業	35,801	耐震性防火水槽40tを整備するとともに、小型動力ポンプ積載車を配備し、消防力の強化に努めた。 ・防火水槽新設工事 1ヶ所(鳥穴) ・消防器具置場新築工事(3ヶ所) ・小型動力ポンプ積載車(7台)

④ 防災費

防災対策事業	2,930	災害に対応するため、防災関係機関・団体との連携を図るとともに、防災施設等を整備し、防災体制の強化、充実に努めた。
市民防災活動普及事業	1,911	防災訓練等を実施し、防災意識の啓発普及を図るとともに、防災協会の拡大及び運営を支援し災害時の人的被害の軽減に努めた。
(防災フェスティバル開催事業)	(1,000)	防災フェスティバルを開催し、住民に防災意識の啓発を図り、市民、市、防災関係機関・団体が一体となり地域防災の推進に努めた。
防災備蓄事業	400	防災備蓄物資を計画的に整備し、発災時の対応に備えた。

(11) 教育施策

① 教育総務費

同和教育推進事業	168	基本的人権の尊重の精神を養い、不合理な差別や偏見の解消を目指し同和教育を推進。
指導強化事業	3,696	時代の要請に応じた学校、幼稚園教育を図るため、教職員に対する指導及び助言を実施。

新 スクールサポート事業	794	学校支援ボランティアを学校に派遣し、放課後や休業日などにおいて生徒の学習相談に応じ、基礎的な学力の向上に努めた。
教育振興対策事業 (新発田中央高校助成)	5,740 (4,480)	教育費父母負担の軽減と私学振興に努め、教育の資質向上を図った。 新発田中央高校に対し、新発田市在住の生徒1人当り10千円を補助した。平成15年度助成額は4,480千円である。
(盲学校、聾学校、養護学校、就学援助)	(1,260)	盲学校・聾学校・養護学校に就学する児童・生徒をもった世帯に対し援助を行い、保護者負担の軽減を図った。
人材育成事業	2,076	学生寮の運営を担う(財)新発田育英会の事務費に対し補助を行った。
新 奨学金貸付金	2,880	旧豊浦町で実施していた奨学金制度の利用者に対し継続して貸し付けを行った。奨学生16人。
学生緊急援助資金貸付金	1,260	(財)新発田育英会が実施している学資援助者の失職等によって修学が困難になった学生に対する貸付事業の原資を貸し付けた。貸付者4人分。

② 小学校費

やる気、元気、総合的学習支援事業	11,011	市内小学校20校全校を対象に、保護者・地域住民の協力を得て地域と学校の連携を図り、問題解決能力や創造性豊かにたくましく生きる学習を推進する等、総合的学習を支援した。フィールドワークや体験学習等で総合的な能力が身についた。
小学校施設整備事業	44,284	小学校施設の補修・整備を行い、教育環境の向上を図った。 五十公野小学校体育館屋根改修工事 川東小学校給水管改修工事 住吉小学校外構フェンス設置工事 荒橋小学校高圧受電施設設置工事 中浦小学校体育館屋根改修工事 等
七葉小学校プール移転改築事業	2,100	狭隘なグラウンド敷地での体育活動を解消するため、隣接地へのプール移転の実設計を行った。 プール水槽規模 水面積325㎡
新 冷房設備整備事業	2,394	夏季期間における教職員等の業務能率向上と健康管理体制の充実を図るため、旧新発田市内小学校15校の教務室に冷房設備を設置した。
みどりの新発田っ子プラン推進事業 (情操教育推進事業)	4,959	保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育支援を実施した。
不登校児童生徒適応指導教室設置事業	7,771	不登校児童生徒の問題解決に向けた指導教室を運営し、学校における不登校対策の実践を支援した。
新 補助教員派遣事業	3,815	複式学級等の小規模校及び配慮を要するため児童・生徒を抱え授業の成立しにくい状況にある学校に補助教員を派遣し、指導力強化に努めた。

③ 中学校費

外国青年招致事業	10,642	中学校における英語教育の充実と国際理解教育の推進を図るため、外国人の英語指導助手を3人配置し、中学校を中心に活きた英語教育を実施した。
やる気、元気、総合的学習支援事業	4,767	保護者・地域住民の協力を得て地域と学校の連携を図り、問題解決能力や創造性豊かにたくましく生きる学習を推進する等、総合的学習を支援した。「食と農」に関する学習や国際理解、環境、福祉等幅広い分野で総合的学習が実施された。
中学校施設整備事業	32,987	学校施設の補修・整備を行い、教育環境の向上を図った。 東中学校体育館屋根改修工事 豊浦中学校バリアフリー施設関連工事 七葉中学校給油配管改修工事 猿橋中学校教室照明改修工事 等
新 冷房設備整備事業	1,193	夏季期間における教職員等の業務能率向上と健康管理体制の充実を図る。旧新発田市内中学校7校の教務室に冷房設備を設置した。
新 豊浦中学校大規模改造事業	16,275	老朽化した豊浦中学校の大規模改造を実施するため、耐震診断を実施した。 診断箇所 校舎、体育館、調理場 診断面積 7,094㎡
みどりの新発田っ子プラン推進事業 (情操教育推進事業)	2,365	保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育の支援を実施した。
心の教室相談員活用調査研究事業	534	生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできるよう、相談員を配置し、生徒の心身の安全を図るよう努めた。

④ 幼稚園費

教育振興対策事業 (私立幼稚園就園奨励費補助) (私立幼稚園補助)	28,282 (26,282) (2,000)	私立幼稚園の振興に努め、教育の資質向上を図った。対象世帯に補助を実施し、公立幼稚園との保育料の格差を縮め、父母負担の軽減を図った。また、私立幼稚園4園に対し私学振興補助として1園当たり500千円を補助した。
西園幼稚園移転事業	104,502	旧猿橋小学校校舎を活用して、老朽化の著しい西園幼稚園園舎を移転するため、旧猿橋小学校校舎1階部分の改造工事を実施した。 実施面積 958㎡
みどりの新発田っ子プラン推進事業 (情操教育推進事業)	224	保護者や地域住民の協力を得て、各園の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育の支援を実施した。

⑤ 学校給食費

学校給食調理場整備事業	5,145	学校給食施設の改善を実施し、給食の安全性、安定性など質の向上を図った。
新 学校給食地産地消導入事業	3,313	学校給食への地場産コシヒカリと野菜の導入を基に、食農教育の充実を図った。

⑥ 社会教育総務費

「かわいい子には旅」推進事業	232	学校週5日制の完全実施を機に、学校、家庭、地域、行政が連携し、地域教育力の醸成を図るための協議の場を設けた。
歴史的遺産活用事業	409,915	新発田城三階櫓・辰巳櫓の復元工事、石垣補強工事、記録映像の作成等を行った。また、市民団体新発田城復元の会に委託し、復元情報のPRを市内外に行った。
市内遺跡発掘調査事業	49,951	開発地の遺跡について事前に発掘調査を行い、記録を残すとともにその出土品の保存と活用を行った。
市指定文化財保存修理事業	3,860	市指定文化財のしばた台輪および職人町獅子舞の保存修理に対し補助を行った。
新 聿修碑移設保存事業	1,100	市指定文化財聿修碑を移設し、屋根の取付工事を行った。
教育広報誌発行事業	500	教育広報誌「しばたっ子」を2回発行し、青少年健全育成に対する取組を紹介した。

⑦ 保健体育総務費

生涯スポーツ推進事業	3,911	夜のスポーツ教室を行い、生涯スポーツの普及・促進を図った。 春(5教室) 夏(1教室) 秋(5教室) 参加者数 延べ4,922人
市民健康づくり運動大会	1,000	子どもから高齢者まで老若男女が参加し、運動習慣の定着と地域相互の連携を深め、今年度は中学生がチームを作って参加し注目を集めた。
国際ユースサッカーIN新潟	1,400	当市では、3位、5位決定戦が行われ、青少年に国際レベルのスポーツ観戦の機会を提供した。
指導者育成事業	1,561	体育指導委員研修会を開催し、ニュースポーツの習得を図り、夜のスポーツ教室や総合型地域スポーツクラブの設立に向け役立てた。
体育団体の育成事業	2,070	加盟競技団体の強化育成やスポーツ少年団の普及育成に力を入れた。
市民総合体育大会の開催事業	1,275	市体育協会の加盟団体のうち17種目が体育の日を中心に大会を開催し、スポーツ人口の拡大、生涯スポーツの推進として大きな役割を果たした。 ・9月～10月 ・参加者 3,378人
少年少女スポーツ大会の開催事業	430	サッカー・柔道・剣道・ミニバス・空手・バレーボール・バドミントンの7種目を行い、近隣市町村からも参加者を得て、児童・生徒の交流が図られた。 ・6月～3月 ・参加者数 1,867人 249チーム

地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業	3,600	2巡目新潟国体に向け、地元開催種目のラグビー・サッカー・ゴルフの3種目でジュニアを対象とした強化事業を行った。
---------------------	-------	---

⑧ 体育施設費

体育施設の補修整備事業	3,611	<p>主な補修整備工事</p> <p>猿中ナイター 166,950円</p> <p>中央公園テニスコートフェンス 199,500円</p> <p>中井弓道場フェンス 256,200円</p> <p>中井体育館水栓柱設置 126,000円</p> <p>五十公野野球場水栓漏水 100,170円</p> <p>体育施設修繕 2,761,578円</p>
新 勤労者総合スポーツ施設購入事業	4,892	雇用・能力開発機構から、サン・スポーツランド、サン・ビレッジの施設を購入した。

⑨ 公民館事業費

中央公民館事業	6,729	<p>市民が心豊かにいきいきとした生活を送り、人生に喜びを感じることができるよう、社会教育施設の機能を生かして気軽に学習できる機会と場を提供するとともに、学んだ成果を活用できるよう援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯各期における学習機会の提供 市民教養講座、市民教室、女性セミナー、オムレツクラブなど ・芸術文化の振興 第33回新発田市美術展覧会、第26回手工芸展・水墨画展、市民茶会・あやめ茶会、文芸しばたの発行など ・各種大会等 新発田市成人式、第22回公民館まつり、市民レクリエーション大会など
豊浦地区公民館事業	2,042	<p>豊浦地区を中心とする市民が心豊かにいきいきとした生活を送り、人生に喜びを感じることができるよう、気軽に学習できる機会を提供し、学習成果を活用できるよう充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯各期における学習機会の提供 豊浦大学、チャレンジキッズ、中部郷青年研修会、豊浦町史資料編解読講座、IT講習会、英会話教室、初心者のためのピアノ教室、和服着付け教室、ふれあい講座、家庭教育セミナー

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化の振興 第29回豊浦地区文化・芸能祭 ・ 各種大会等 豊浦地区成人式、豊浦地区囲碁将棋大会
--	--	--

⑩ 市民文化会館事業費

教育鑑賞事業	12,048	<p>市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することを通じて、市民の芸術・文化活動の振興を図った。</p> <p>6/18 新発田あやめ寄席 825人 7/23 アテルイ 685人 8/3 薪能 548人 8/10 しまじろうといっしょに遊ぼう 1900人 12/7 第20回メサイア 700人 1/25 新潟大学吹奏楽部演奏会 668人</p>
文化創造事業	1,313	<p>市内各種団体の活動に発表の場を提供し、市民の自主的な芸術文化活動の育成に努めた。</p> <p>5/11 琴・三絃・尺八演奏会 249人 6/22 ライトミュージックコンサート 547人 6/29 市民音楽会 243人 7/20 合唱のつどい 700人 8/31 高校音楽祭 700人 10/12 秋を彩るバレエ 550人 10/12 ダンス&ダンス 250人 10/26 詩吟・吟舞・剣武のつどい 567人 11/3 秋の民謡と踊り 930人 11/16 能楽鑑賞会 57人 11/23 マジック文化祭 190人 2/8 高校演劇 85人</p>
全国花嫁人形合唱コンクール事業	5,600	<p>当市出身の叙情画家で詩人でもある落谷虹児が作詞した唱歌「花嫁人形」を課題曲にした合唱コンクールを市民ボランティアと力を合わせて開催、新発田市を全国に向けて発信し、合唱活動をはじめとする市民の芸術・文化活動の振興を図るとともに、市民と行政の共創による町づくりの推進に努めた。</p> <p>参加合唱団 26団体 参加人数 353人 入場者数 853人</p>
会館施設整備事業	61,740	文化会館空調設備工事

① 図書館費

<p>図書類購入</p>	<p>12,165</p>	<p>生涯学習施設の充実を図るため、市民の要望に沿った図書資料及び視聴覚資料の購入を行い、市民の教育と文化の発展に寄与した。</p> <p>図書資料 4,777冊 CD 168枚 ビデオ 91巻 マイクロフィルム（新聞） 24巻</p>
--------------	---------------	---

2 土地取得事業特別会計

平成15年度決算は、歳入歳出決算額で157,993千円となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
土地取得事業費	36,668	公共用又は公共の利益のために必要な土地を先行取得することにより、土地利用の円滑化を図った。
土地開発基金積立金	97,028	
土地開発基金償還金	24,297	

3 国民健康保険事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で6,967,695千円、歳出決算額で6,726,775千円となり、実質収支で240,920千円の黒字決算となりました。

1 保険給付費

事業名	決算額(千円)	成果説明
(1) 療養諸費	3,644,345	被保険者の診療費に係る法定給付を行った。
① 療養給付費	3,601,524	
(一般被保険者)	(2,417,580)	
(退職被保険者)	(1,183,944)	
② 療養費	22,922	
(一般被保険者)	(12,572)	被保険者のコルセット代等の法定額を支給した。
(退職被保険者)	(10,350)	
③ 審査費	19,899	
(2) 高額療養費	396,742	被保険者が、同一の医療機関で1ヶ月72,300円(市民税非課税世帯については35,400円)以上の医療費を支払った場合等に、その超えた額を償還した。
(一般被保険者)	(297,495)	
(退職被保険者)	(99,247)	
(3) 出産育児一時金	32,700	1件300,000円×109件
(4) 葬祭諸費	22,120	1件40,000円×553件

2 老人保健拠出金

老人保健医療費拠出金	1,391,438	70歳以上の者及び65歳以上70歳未満の寝たきり等の状態にある者の医療費として社会保険診療報酬支払基金へ拠出した。
老人保健事務費拠出金	29,625	

3 趣旨普及費

趣旨普及費	254	・広報しぼた国保特集記事掲載 ・外国人向けパンフレット、制度理解パンフレット等配布
-------	-----	--

4 保健事業費

保健事業費	48,051	
(1) 人間ドック検診助成事業	42,468	助成率 2/3 一日ドック 24,500円助成 半日ドック 21,700円助成
(2) 肺がん検診助成事業	509	助成率 2/3 1,890円助成
(3) 骨粗しょう症検診助成事業	186	助成率 1/2 1,512円助成
(4) 健康づくり啓発活動	449	健康づくりのための運動教室を開催した。
(5) エイズ予防事業	1,026	パンフレット全戸配布
(6) 医療費通知による適正医療推進事業	1,924	
(7) 在宅医療等推進支援事業	54	在宅医療該当者リスト提供のための電話回線使用料
新 国保保健指導事業	1,435	事業をとおり、適正医療・健康づくりの啓発等実施した。 人間ドック受診者訪問 654人 重複・他受診者訪問 309人 健康教育 2回 68人 健康相談 2回 68人

5 医療費適正化対策事業

医療費適正化対策事業	6,100	レセプト点検専門職嘱託報酬等
------------	-------	----------------

6 介護納付金

介護給付費納付金	376,443	平成15年度分納付全額 (社会保険診療報酬支払基金へ)
----------	---------	--------------------------------

7 保険税収納率向上特別対策事業

保険税収納率向上特別対策事業	1,599	滞納者訪問嘱託職員報酬等
----------------	-------	--------------

4 老人保健特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で7,675,535千円、歳出決算額で7,291,089千円となり、実質収支で384,446千円の黒字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
老人医療給付事業	6,956,143	老人医療費として、高齢者の健康保持と適切な医療の確保を図り、高齢者福祉の増進を図った。

5 介護保険事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で4,044,523千円、歳出決算額で3,907,292千円となり、実質収支で137,231千円の黒字決算となりました。

1 介護サービス給付費

事業名	決算額(千円)	成果説明
保険給付費事業	3,657,178	
(1) 介護保険サービス等諸費	3,525,220	
① 居宅介護サービス給付費	1,221,531	要介護度1～5までの要介護認定者が利用した訪問介護等の居宅介護サービス費を給付した。 給付件数 42,934件
② 施設介護サービス給付費	2,168,430	特別養護老人ホーム、老人保健施設等の利用に対する施設サービス費を給付した。 給付件数 7,582件
③ 居宅介護福祉用具購入費	5,366	要介護度1～5までの要介護認定者が購入した福祉用具費を給付した。 給付件数 236件
④ 居宅介護住宅改修費	17,337	要介護度1～5までの要介護認定者が行なった住宅改修費を給付した。 給付件数 157件
⑤ 居宅介護サービス計画給付費	112,556	要介護度1～5までの要介護認定者に対する居宅介護サービス計画費を給付した。 給付計画件数 13,380件
(2) 支援サービス等諸費	110,862	
① 居宅支援サービス給付費	84,348	要支援認定者が利用した訪問介護等の居宅介護サービス費を給付した。 給付件数 6,369件

② 居宅支援福祉用具購入費	978	要支援認定者が購入した福祉用具費を給付した。 給付件数 44件
③ 居宅支援住宅改修費	3,594	要支援認定者が行なった住宅改修費を給付した。 給付件数 39件
④ 居宅支援サービス計画給付費	21,942	要支援認定者に対する居宅介護サービス計画費を給付した。 給付計画件数 2,641件
(3) 審査支払手数料	6,489	国保連合会へ給付審査支払手数料を支払った。 審査支払件数 55,364件
(4) 高額介護サービス費	14,607	利用者負担金のうち一定の限度額を超えた場合に支払う高額サービス費を支給した。 給付件数 2,266件

2 財政安定化基金拠出金

財政安定化基金拠出金事業	4,188	介護保険財政の安定化を図るために、県が設置した基金へ拠出金を支払った。
--------------	-------	-------------------------------------

3 趣旨普及費

趣旨普及費事業	273	広報に掲載及び介護保険に関するパンフレット2,000部を作成し申請者や相談者に配布した。
---------	-----	--

4 介護認定審査会費

認定審査会共同設置負担金事業	24,092	介護認定審査会を広域事務組合に共同設置し、それに対する新発田市分の負担金を支払った。
----------------	--------	--

6 駐車場事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で14,438千円、歳出決算額で48,391千円となり、実質収支で33,953千円の赤字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
駐車場事業費	7,083	○駐車台数 中央パーキング 14,381台 上町パーキング 18,184台

7 宅地造成事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で99,039千円、歳出決算額で279,320千円となり、実質収支で180,281千円の赤字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
宅地造成事業	128,481	(地域整備課) ・太田川改修事業に伴う集団移転事業 用地購入 A=3,549.28㎡ 配水管布設工事 L=192m ガス管敷設工事委託等一式 ・(仮称)菅谷地区住宅地整備事業 用地購入 A=39,205.08㎡
	8,071	(都市整備課) 本会計で所有している財産の維持管理及び、荒町宅地造成事業で取得した用地の借入利息償還金
前年度繰上充用金	142,770	

8 公共用地先行取得事業特別会計

平成15年度決算は、歳入歳出決算額で98,116千円となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
公共用地先行取得事業	98,117	駅前開発用地及び城北町街路代替用地として取得した用地の元利の償還を行った。

9 農業集落排水事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で1,016,683千円、歳出決算額で1,016,294千円となり、実質収支で389千円の黒字決算となりました。

(1) 管理費

事業名	決算額(千円)	成果説明
農業集落処理施設管理運営費	80,380	供用開始処理区内の施設の維持管理 (供用開始処理区) 米倉、荒川、松浦、石喜、菅谷、内竹、 島潟処理区(7処理区)

(2) 事業費

事業名	決算額(千円)	成果説明
施設整備事業	3,069	農業集落排水施設台帳作成委託等
中井地区整備事業	498,659	一般補助事業 実施設計 一式 管路施設工事 L=4,878m 水道管等移設補償 一式
整備事業費 493,921千円		
人件費割当 4,738千円		
上中山地区整備事業	37,484	一般補助事業 地形図作成 34ha 基本設計 一式 管路実施設計 一式 地質調査 一式
整備事業費 37,114千円		
人件費割当 370千円		
三光地区整備事業	120,373	一般補助事業 地形図作成 70ha 基本設計 一式 管路実施設計 一式 処理場実施設計 一式 地質調査 一式
整備事業費 119,183千円		
人件費割当 1,190千円		
島潟地区整備事業	22,587	一般補助事業 舗装復旧工事 一式 処理場機能調整工事 一式
整備事業費 22,445千円		
人件費割当 142千円		
新福島地区整備事業	1,680	単独事業 土地改良事業技術援助負担金 一式

10 下水道事業特別会計

平成15年度決算は、歳入歳出決算額で4,463,185千円となりました。

(1) 管理費

事業名	決算額(千円)	成果説明
下水道管理費		
	6,892	総務管理費
	78,187	下水道施設維持管理費
	7,328	受益者負担金賦課徴収費
	1,618	下水道使用料賦課徴収費
	5	諸費

(2) 事業費

事業名	決算額(千円)	成果説明
公共下水道整備事業	929,090	阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)及び特定環境保全公共下水道(月岡地区)事業他の推進により、新発田川等の公共水域の水質保全及び快適な生活環境の整備に努めた。
国庫補助公共下水道整備事業	1,600,732	補助事業(新発田地区)
整備事業費 1,582,797千円		単独事業(新発田地区)
人件費割当 17,935千円		枝線管渠等工事
		Φ150~200(開削) L=9,155m
		舗装復旧工事 一式
		ガス・水道管移設等補償 一式
		実施設計 一式
		東部1号汚水幹線管渠工事
		Φ800(推進) L=1,021m
		東部3号汚水幹線管渠工事
		Φ200~250(推進) L= 476m
		東部汚水枝線管渠工事
		Φ150~200(開削) L=2,838m
		中央汚水枝線管渠工事
		Φ150~200(開削) L=2,252m
		北部汚水枝線管渠工事
		Φ150~200(開削) L= 960m
		舗装復旧工事 一式
		ガス・水道管移設等補償 一式

県事業負担金	243,752	阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)
新 豊浦地区公共下水道整備事業	765,703	建設事業負担金 単独、補助事業 (旧豊浦地区) 実施設計 一式 新発田東部下水道管渠工事 Φ200~300 (開削・推進) L= 5,833m 舗装復旧工事 一式 ガス・水道管移設等補償 一式

新 特定環境保全公共下水道整備事業	59,001	単独、補助事業 (旧豊浦地区) 実施設計 一式 マンホール防食工事 7箇所
-------------------	--------	---

1 1 西部工業団地造成事業特別会計

平成15年度決算は、歳入決算額で994,980千円、歳出決算額で2,201,579千円となり、実質収支で1,206,599千円の赤字決算となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
西部工業団地造成事業	1,332,961	工業の振興と雇用の拡大、若者の定着を図るため、西部工業団地の早期完売を目指し、企業誘致活動を推進した。
(事業費)	(5,077)	販売実績 2件 5,202.19m ² 企業誘致の推進、工業団地の維持管理を行った。
(公債費)	(459,260)	市債の定期償還を行った。 償還元金 419,188千円 償還利子 40,072千円 (償還金残高 1,064,245千円)
(前年度繰上充用金)	(868,624)	前年度赤字決算に係る繰上充用を行った。
(一般会計償還金)	(868,624)	一般会計からの借入に対し償還を行った。

12 簡易水道事業特別会計

平成15年度決算は、歳入歳出決算額で36,719千円となりました。

事業名	決算額(千円)	成果説明
市営簡易水道事業	36,719	中々山地区、滝谷新田地区、上赤谷地区及び板山地区4施設の運営・維持管理を行った。
(簡易水道運営事業)	(14,990)	
(簡易水道維持管理事業)	(21,729)	

13 水道事業会計

平成15年度決算は、収益的収支(税抜額)の収入で、1,681,126千円(前年度比0.8%増)、支出では、1,596,562千円(前年度比0.3%増)となり、損益で、84,564千円(前年度比11.8%増)の純利益となった。資本的収支(税込額)の収入で1,092,045千円(前年度比20.4%減)、支出では、1,684,671千円(前年度比15.0%減)となり、592,626千円の収入不足額は、積立金等で補てんした。

建設改良費

事業名	決算額(千円)	成果説明
第5期拡張事業	291,224	未普及地域解消の第5期拡張事業を進めた。 14件φ50～φ250 L=6,938m 配水管添架工事 2件 増圧ポンプ場構内整備 1式
(配水管布設工事)	(266,930)	
(実施設計委託料)	(23,500)	
(用地費)	(794)	第2ポンプ場系工事実施設計委託 1式 第2ポンプ場用地 1式 166.10m ²
県・市町村関連配水管入替事業	245,551	県、市町村道路、下水道工事等関連配水管入替工事を実施した。 45件 φ30～φ350 L=4,997m
(配水管入替工事)	(236,069)	
(実施設計委託料)	(9,482)	
配水管整備事業	19,887	配水管整備工事 4件 φ75～φ150 L=743m
老朽管更新事業	201,457	年次計画による老朽管入替工事を実施した。 10件 φ30～φ250 L=4,062m
(配水管入替工事)	(194,107)	
(実施設計委託料)	(7,350)	
小舟渡配水場整備事業	359,258	小舟渡配水場整備事業を実施した。 配水場電気計装設備 1式 配水場構内配管工事 1式 配水場設備工事 1式
(配水管布設工事)	(357,053)	
(実施設計委託料)	(2,205)	
荒川地区整備事業	89,156	荒川地区上水道整備事業を実施した。

(配水管布設工事)	(85,533)	配水管布設工事 φ75～φ150 L=476m 増圧ポンプ場1棟等土木建築工事 1式 同ポンプ場機械電気工事 1式 水管橋設置工事 1件
(実施設計委託料)	(3,623)	実施設計委託
消火栓設置事業	12,327	消火栓設置 8基 消火栓移設 13基
浄・配水施設費	54,023	浄水場、配水場の施設整備工事を実施した。
(浄水施設費)	(42,788)	除塵機更新工事 1式 沈殿池スクレーパー 1式 管理本管屋根防水工事 1式 ギヤ取替工事 1式 浄水場本館屋根防水工事 1式 浄水場圧力タック塗装工事 1式 他
(配水施設費)	(11,235)	配水場NSモーターポンプ分解整備 1式